

委員会名	平成 29 年度 第 1 回教育に関する事務の点検・評価委員会		
開催日時	2016 年 10 月 6 日（金）15:00～17:00	開催場所	教育委員会室
出席者	<p>【教育に関する事務の点検・評価委員】 壺内委員、工藤委員、福元委員</p> <p>【豊島区】 三田教育長、天貝教育部長、兒玉庶務課長、高桑放課後対策課長、 秦学校施設課長、木山学務課長、加藤指導課長、鮫島教育センター長、 細山統括指導主事</p> <p>【事務局】 入澤係長、古味、池田</p>		
資料	<p>教育に関する事務の点検・評価の実施について 平成 28 年度点検・評価後の取組状況（報告） 平成 29 年度点検・評価後評価対象事業（案）概要説明資料 平成 29 年度 学校視察の実施について</p>		
傍聴人	0 人		
議事録作成者	庶務課学校 ICT グループ：池田	作成日	2017 年 11 月 6 日（月）

発 言 者	発 言 内 容
児玉庶務課長	<p>ただ今から、平成29年度第一回教育に関する事務の点検・評価委員会を開会いたします。</p>
三田教育長	<p>まず、三田教育長より委員の皆様へ委嘱状の交付をいたします。委嘱状、壺内明様。教育に関する事務の点検・評価委員会設置要綱の規定に基づき、教育に関する事務の点検・評価委員を委嘱する。平成29年10月6日から平成30年3月31日まで。平成29年10月6日、豊島区教育委員会。どうぞ、よろしく願いいたします。</p>
児玉庶務課長	<p>委嘱状、工藤豊太様。内容は、以下同文でございます。平成29年10月6日、豊島区教育委員会。どうぞ、よろしく願いいたします。</p>
工藤委員	<p>委嘱状、福元保子様。内容は、以下同文でございます。平成29年10月6日、豊島区教育委員会。どうぞ、よろしく願いいたします。</p>
児玉庶務課長	<p>ありがとうございました。それでは、これより委員長を選出して頂きます。委員長は要綱に基づきまして委員の互選となっておりますので、委員の皆様よろしく願いいたします。</p>
児玉庶務課長	<p>壺内委員を推薦いたします。</p>
委員一同	<p>それでは、壺内委員に委員長をお願いするというので、委員の皆様よろしいでしょうか。</p>
児玉庶務課長	<p>はい。</p>
壺内委員長	<p>ありがとうございます。それでは壺内委員長よろしく願いいたします。では、委員長職務代理者の指名をさせていただきます。例年では委員長からご指名を頂いておりますが、いかがいたしましょうか。</p>
児玉庶務課長	<p>委員長職務代理者には工藤委員をお願いいたします。</p>
工藤委員	<p>ありがとうございます。工藤委員いかがでしょうか。</p>
児玉庶務課長	<p>はい。かしこまりました。</p>
壺内委員長	<p>ありがとうございます。工藤委員よろしく願いいたします。</p>
壺内委員長	<p>それでは教育に関する事務の点検・評価委員会の委員長は壺内委員長、委員長職務代理者には工藤委員ということで、よろしく願いいたします。それでは、壺内委員長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
壺内委員長	<p>平成29年度の教育に関する事務の点検・評価委員会の委員長を仰せつかりました壺内でございます。どうぞよろしく願いいたします。</p>
児玉庶務課長	<p>私も何年か委員をしておりますが、池袋に降りて「人と人、心と心、笑顔あふれる豊島区」とありました。正に教育長がいつも仰っている学校に当てはまっていると思えました。毎年学校訪問をさせて頂くたびに、地域の皆さんと一体となって子供たちを育てていると学校長が話されています。それには子供と教師、保護者と地域が心から繋がっていただければできなことと思います。今年も教育委員会事務局の皆様と一緒に頑張って頑張りますのでよろしく願いいたします。</p>
児玉庶務課長	<p>壺内委員長ありがとうございました。それでは、委員の皆様からも自己紹介をお願いいたします。始めに工藤委員よろしく願いいたします。</p>

工藤委員	<p>今年度の教育に関する事務の点検・評価委員として、豊島区の教育に関わらせて頂くことになりました。委員長を支えながら、事務局とも協力しながらより良い豊島区の教育が成せるように努力いたします。よろしくお願いいたします。</p>
児玉庶務課長	<p>工藤委員ありがとうございました。それでは今年度から新たに委員とされました福元委員にご挨拶をお願いいたします。</p>
福元委員	<p>はじめまして、平成29年度より教育に関する事務の点検・評価委員になりました福元でございます。私は西巣鴨小学校でPTA会長を務めておりました。子供を育てている保護者、区民として、大好きな豊島区の子供たちの為にお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
児玉庶務課長	<p>福元委員ありがとうございました。それでは、三田教育長よりご挨拶申し上げます。</p>
三田教育長	<p>皆様には快く委員をお引き受け頂きまして感謝申し上げます。</p> <p>教育に関する事務の点検・評価委員会は、地方公共団体が事業を進めるにあたって、しっかりと外部評価をし、事業の成果を確認するために法律に基づいて設置されております。従いまして点検・評価の対象事業は教育ビジョン2015の施策がどのように進んでいるのかといった所を重点的に取り上げてきたという経緯があります。今年は教育ビジョン2015が3年目を迎えます。効率的、効果的に事業が展開されているのか。結果として子供の成長や、学校の活性に繋がっているのか。区民の目線で見たとときに常識・良識的な効果を上げているのか。などを厳しく点検をして頂いて、行政バランスを取ってまいりたいと思っております。</p>
児玉庶務課長	<p>今年度、教育委員会として大きな変化がありました。これまで、子ども課が所管していました学童保育と子どもスキップ事業ですが、教育委員会が所管することになりました。また、池袋本町小学校の新校舎が完成したことで、全ての子どもスキップ事業が校内で展開できることになりました。これまでは施設の改修にしても子ども課と教育委員会で調整が必要であり、迅速な改善策が取り辛い状況でした。合わせて保育園の待機児童ゼロについて、23区では豊島区は千代田区について二番目にゼロ宣言を行いました。保育園の子供たちは小学校に入学してきます。豊島区立小学校の入学率が非常に増えており、合わせて学童保育、子どもスキップの利用者も増えています。学童保育は多い所では160名を超えています。非常に大勢の子供たちが施設を利用しています。このように新しい事業も加わっておりますので、これらを踏まえて点検と評価をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
天貝教育部長	<p>三田教育長ありがとうございました。それでは教育委員会事務局部課長を紹介いたします。天貝教育部長でございます。</p>
児玉庶務課長	<p>よろしくお願いいたします。</p>
木山学務課長	<p>木山学務課長でございます。</p>
	<p>よろしくお願いいたします。</p>

<p> 兒玉庶務課長 高桑放課後対策課長 兒玉庶務課長 秦学校施設課長 兒玉庶務課長 加藤指導課長 兒玉庶務課長 鮫島教育センター長 兒玉庶務課長 細山統括指導主事 兒玉庶務課長 壺内委員長 兒玉庶務課長 壺内委員長 兒玉庶務課長 加藤指導課長 木山学務課長 高桑放課後対策課長 秦学校施設課長 壺内委員長 工藤委員 </p>	<p> 高桑放課後対策課長でございます。 高桑です。よろしくお願いたします。 秦学校施設課長でございます。 秦でございます。よろしくお願いたします。 加藤指導課長でございます。 加藤でございます。よろしくお願いたします。 鮫島教育センター長でございます。 鮫島です。どうぞよろしくお願いたします。 細山統括指導主事でございます。 よろしくお願いたします。 私、教育部庶務課長の兒玉と申します。よろしくお願いたします。 それではこれより議事に入らせて頂きますので、進行を壺内委員長にお願いいたします。 議事の第1としまして教育に関する事務の点検・評価の実施案についてご説明をよろしくお願いたします。 資料番号1「教育に関する事務の点検・評価の実施について」をご覧ください。 【資料1の説明】 ありがとうございます。今説明がありましたが、特に何かありますでしょうか。では、次に議事2の平成28年度の教育に関する事務の点検・評価後の取り組み状況について各課よりご説明をお願いいたします。 【資料2：取り組み状況概要】説明 【資料2：小学校外国語活動の充実】説明 【資料2：不登校対策】説明 【資料2：通学路における防犯カメラ】説明 【資料2：放課後子ども教室事業】説明 【資料2：学校施設環境改善交付金事業】説明 ありがとうございます。各課より昨年の評価後の取り組み状況についてご説明がありました。委員の皆様、ご意見、ご感想などございましたらお願いいたします。 それでは若干の質問をさせていただきます。昨年の評価に基づきながら、各課でかなりの努力を重ね、前進していると感じました。ご苦労様でございます。外国語活動の充実ですが、様々な活動が成されていますが、保護者が最終的に求める評価・評定などはどのようになっているのでしょうか。子供たちに身に付いているのか。教科となれば評定は出さなければならぬと思います。その辺りについてご説明を頂けますでしょうか。 2点目の不登校対策ですが、係長職の方が配属され強化され、緊急時の対応も成されているとのことで、大変ありがたい事だと思います。これは、教育センターとしては1人で十分なのか、財政的な問題もあるかとは思いますが、今後の拡充等についてお考えなののでしょうか。 通学路における防犯カメラについては、大変難しい問題の中であると理 </p>
---	--

解しています。平成31年度以降は3年という実施サイクルを見直すとのことですが、現段階では3年という期間より短期での運用をお考えなのでしょうか。

放課後対策の件につきましては、三田教育長からもありましたが、教育委員会が統括されることは素晴らしいことだと思います。また、地域と一体となったチーム学校といった話もありました。これは良い事だと思いますが、設備的な事、地域性による住民の意識など、学校によって温度差があるのではないのでしょうか。その辺りについて見解をお聞かせいただければと思います。

最後に学校施設の昇降式のプールですが、使用者によって床面の上げ下げを行うのは、事故の未然防止等からも非常に有効だと思います。小学校の低学年と高学年では身長もかなり差がありますので、水を抜いたり、簀子等を沈めたり等で対応するなど、苦慮されていたと思います。

先ほどの説明の中で、専門業者が操作を行うとありましたが、導入の段階ではもっと簡便な形で運用ができるとの認識だったのではないのでしょうか。費用面、回数等の他、授業に対して適切に変えたり、学校の要求に応えられる体制が取られているのか等、教えて頂けますでしょうか。

外国語活動、小学校の評価・評定についてご説明差し上げます。

まず31年度から教科として外国語活動を進める中で一番の課題は、英語に関する指導・教育方法を教員が大学で学んできていないことがあると考えます。英語につきましては総合的な学習の時間と共に、評価基準ではなく評価規準、取り組みの様子を個々に評価することを考えております。

また英語等を積極的に使おうとする意欲、人と関わろうとするコミュニケーション能力と英語を親しむといった3つの観点と、子供たちが英語に慣れ親しむところを評価していきたいと考えております。

東京都の小学校教員の採用試験において新たに英語コースを取り入れております。文部科学省でも大学の単位として英語科の指導法を考えております。豊島区として今後の動向を踏まえて、評価規準の観点で子供たちの成長、発達を評価してまいりたいと考えます。

今の指導課長からのご説明に補足を差し上げます。

まず、中学校の状況ですが、学力調査では非常に高い結果が出ております。やはり小学校での英語活動によるものと捉えております。工藤委員よりご指摘のありました、今後求められる小学校の評価につきましては指導課長の説明どおりですが、中学校においても区で統一したCANDOリストの作成を進めております。今後、東京都教育委員会からも小学校についてもCANDOリストの作成について動きがあると思われれます。こういった国・都の動向を見据えながら今回の学習指導要領のポイントとして、資質、能力ベースということが求められてきますので、教科化となった場合、CANDOリストを活用した評価がしっかりとできるように今後の課題として進めてまいりたいと思っております。以上でございます。

はい。ありがとうございました。続きましてセンター長お願いいたします

加藤指導課長

細山統括指導主事

壺内委員長

<p>鮫島教育センター長</p>	<p>す。</p> <p>それではスクールソーシャルワーカー（SSW）の常勤化についてお答えいたします。</p> <p>常勤化につきましては、SSWとして優秀な人材が常勤職となるのは厳しいことだと思います。また、財政的な面からも難しい所もあります。今回の任期付係長として着任することになった経緯につきましても、長年に渡って検討と交渉を重ねてきたことにより実現できました。まずは、増員を考えてまいりたいと思います。現在は月に16日勤務が2名、8日勤務が2名、係長が1名の5名体制で取り組んでおります。昨年度は過去最高となる申請件数79件を記録しております。今年度は9月末現在でその件数に迫る70件の申請が上がっておりますので、平成29年度末にはSSWの申請件数は増えるものと思われまます。そういった点からも常勤化より非常勤でも人数・日数の増を検討していかなければならないと考えます。</p>
<p>壺内委員長</p>	<p>ありがとうございます。では、続きまして木山学務課長お願いいたします。</p>
<p>木山学務課長</p>	<p>通学路における防犯カメラの合同点検についてですが、作業が完了した平成30年度の学校運営協議会において、毎年の実施を検討してまいりたいと考えます。</p>
<p>壺内委員長 高桑放課後対策課長</p>	<p>はい。ありがとうございます。では、放課後対策課長お願いします。</p> <p>はい。ではチーム学校といった事に対する学校間での温度差についてですが、まず学校に関しましては、特に教育委員会に放課後対策の事業が移管され、同じ教育委員会の所管となったこともあり校長先生を始め教員の意識はかなり変わったと感じています。特に場所の融通についての認識等はかなり前向きになったと思います。課題としましては、放課後子ども教室指導員の人材が偏在しておりまして、放課後子ども教室の開催数が多い学校がある一方で人材が集まらないために開催数の少ない学校もあります。これらの人材確保につきましては努力を続けてまいります。</p>
<p>天貝教育部長</p>	<p>今回、教育委員会に子どもスキップ事業が移管されたことは、工藤委員の仰るとおりスキップごとに格差がでないように一律に事業を展開するためでもあります。施設面で申し上げますと、校舎の中で教室が確保できないため別棟を使用しているスキップもあります。こうした状況の中で教育委員会に移管されましたが、現在区立小学校の入学率が非常に高くなっています。平成20年頃は80%後半だったところ、94%まで上がっています。共働き世帯が増えているといった社会的背景により、保育園需要の上昇、合わせて学童保育の需要も伸びており、今年は教室が不足してきている状況です。学校の敷地内に別棟を建ててスキップを移設し、スキップの教室だった部屋を普通教室として活用することを考えています。時期的には教育委員会に移管されたことによって需要に合わせた施設整備等も十分に行えると思います。校長との連携等、コミュニケーションを含めたソフト的な部分と、ハード面も教育委員会で即座に対応できるようになりました。</p>

<p>壺内委員長 秦学校施設課長</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>連携校のプールの件でございます。運用上は体格に合わせて水位を変えられることは非常に便利であり、デメリットは無いと考えます。年に1回プール使用開始前の清掃・点検を実施しなければなりません。その時に専門業者でなければ実施できません。費用面としては通常のプールとは異なり、業者委託の分がかかってしまいます。</p>
<p>工藤委員 壺内委員長 福元委員</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>では、福元委員からございますか。</p> <p>はい。一つ目の外国語活動についてですが、今後、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4観点から学習を展開していくと思いますが、オリンピック・パラリンピック教育と絡めて、子供たちが日本を訪れた外国の方々と実践的にコミュニケーションをとれていくような取り組みを行って頂きたいと思っております。例えば、子供たちが「私達のところではこうです。」といった意見を持っていたり、お隣の方に「お困りですか？」と声掛けできるような大人になっていける教育等についてお聞かせ頂けますでしょうか。</p>
	<p>不登校対策お尋ねいたします。難しい事例が多く、SSWが関わることで簡単に解決するようなものでも無いと承知しております。数字には表れない部分など、実際に改善されたケース、有効性等についてお伺いできたらと思っております。</p> <p>続いて施設環境についてですが、先ほど天貝部長からもお話し頂きましたが、子供たちの増加にともなって教室の不足も保護者としても聞いております。多目的スペースを整備し、余裕の教室があるということで様々な活動ができ、学習面でも子供たちが細やかな学習が可能になっていると思っております。スキップ、地域の様々な団体とも、タイムシェアリングを上手にして頂いて無駄の無い使い方をしていただいておりますので、多目的スペースの活用について具体例などお尋ねできたらと思っております。</p>
<p>加藤指導課長</p>	<p>オリンピック・パラリンピック教育との連携についてですが、南池袋小学校ではオリンピック・パラリンピック教育と豊島ふるさと学習プログラムの一環として、自分の身の回り、例えば鬼子母神等について外国の方に紹介できるようなコミュニケーション能力を育てる取り組みをしております。また、豊島区はサンシャインを始め有名な建物があります。困っている方に簡単な英単語だけの道案内や、Welcome、Excuse Me等については現在の各校の英語活動で実施しております。また、4観点につきましては、文部科学省から出されました教材、指針等を含めまして、さらに深めてまいります。「書く」「読む」につきましては、新たに導入される部分ですが、文型、SV、SVOといった部分については触れられないと思っております。まず、アルファベット大文字小文字からスタートし、単語等に取り組むことが予想されますので、今後動向を見据えて区内の研究会を進めてまいります。</p>
<p>鮫島教育センター長</p>	<p>SSWが関わる不登校の改善についてですが、昨年度は42件中50%が改善されました。ここでの改善とは、不登校であった児童・生徒が週に</p>

	<p>一回以上登校できるようになった、全く登校できなかった児童・生徒が完全に学校に復帰できた件数となっています。SSWは今年度、適応指導教室と連携をとって進めております。9月24日から27日にかけて、適応指導教室の子供を始め、全く学校に通うことができず、柚子の木教室にも通えない、校外学習にも参加できなかった子供たち計10名で山中湖における宿泊体験を行っております。このことについてもSSWの大きな貢献があつたの事と思っております。以上となります。</p>
<p>壺内委員長 秦学校施設課長</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>多目的スペースについてお答えいたします。既存校にあります多目的室は教室の形で普段は普通教室として使用せず多目的な使用をいたします。連携校における多目的スペースは、オープン教室でございますので、教室の前の廊下がとても広くオープンなエリアとなっています。活用方法としましては、指導課長よりご説明申し上げます。</p>
<p>加藤指導課長</p>	<p>オープンスペースの活用方法ですが、例えば学年で集まって活動する場合等に活用できます。また、新聞等の大きな作品作りなど教室では難しい場合にも、子供たちが自由かつ主体的な活動ができるような使い方をしております。</p>
<p>壺内委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>昨年の点検・評価の後、教育長を先頭に各課で一丸となって改善をして頂いて心から感謝を申し上げます。それでは3点目の議題、平成29年度教育に関する事務の点検・評価の対象事業案について各課より説明をお願いいたします。</p>
<p>兒玉庶務課長</p>	<p>【資料3：教育に関する事務の点検・評価の対象事業（案）】説明</p>
<p>加藤指導課長</p>	<p>【資料3：ICT 機器整備の推進と活用状況】説明</p>
<p>鮫島教育センター長</p>	<p>【資料3：教育支援員等の配置と活用状況について】説明</p>
<p>加藤指導課長</p>	<p>【資料3：特別支援学級の教員による巡回指導システムの確立及び新たな特別支援学級（けやき学級）の設置】説明</p>
<p>木山学務課長</p>	<p>【資料3：学校給食の状況と今後のあり方】説明</p>
<p>秦学校施設課長</p>	<p>【資料3：学校施設環境改善交付金対象事業】説明</p>
<p>壺内委員長</p>	<p>今年度評価対象となる事業の案につきまして、ご説明を頂きましたが、委員の皆様、今年度の対象事業としていかがでしょうか。</p>
<p>工藤委員</p>	<p>結構でございます。</p>
<p>壺内委員長</p>	<p>では、本日ご説明頂いた事業について今年度の評価対象事業といたします。よろしく願いいたします。</p> <p>本日の最後の議題、平成29年度の学校視察の実施につきまして、説明をお願いいたします。</p>
<p>兒玉庶務課長 壺内委員長</p>	<p>【資料4：平成29年度 学校視察の実施について】説明</p> <p>ご説明ありがとうございます。学校視察につきまして説明を頂きました。池袋本町地区小・中併設型連携校と、南池袋小学校を視察することですがいかがでしょうか。</p>

工藤委員	<p>はい。一つ宜しいでしょうか。視察の3点の目的が叶う学校とのことで、学校を設定されているかと思います。また非常に苦勞をされて選択されたと思います。ただ、この学校は昨年度に別な目的で視察を行っています。では、今回の目的にあった学校は他に無いのでしょうか。といった事も問われる場合もあるのではないかと思います。そういった点も踏まえまして、今後の視察対象校について考慮して頂ければというのが私の意見です。</p>
兒玉庶務課長	<p>ご指摘のとおりでございますので、検討をさせていただきます。日程は変更せずに、例として池袋第三小学校も昨年度改築をした新校でございますので、対象校を変更する方向で検討させていただきますので、よろしく願いいたします。</p>
壺内委員長	<p>はい。ありがとうございます。では、連携校は昨年度にも視察を行ったとのご意見を頂きました。兒玉庶務課長の方からは、池袋第三小学校に変更との案も頂きました。その方向でということで、宜しいでしょうか。</p>
福元委員 壺内委員長	<p>はい。結構です。 では、ご検討のほどよろしくお願いいたします。 本日は長時間に渡って、委員の皆様、事務局の皆様お疲れ様でした。 現在は、新学習指導要領の周知徹底期間であり、来年度から移行期間、小学校は平成32年度、中学校は平成33年度から全面实施を迎えます。 外国語活動につきまして、豊島区は大変進んでいると思います。それと共に、教員の働き方改革も叫ばれています。豊島区が率先して行っているICTを活用した業務改善も大変素晴らしく、恐らく23区でも上位を切っているのではと思います。学校の為に教育委員会の皆様が成されていることに感謝しております。今年度も適正な評価を私共も頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
出席者一同	<p>これで、本日は閉会といたします。皆様ありがとうございました。 ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">————— 閉 会 —————</p>